



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日
東

上場会社名 株式会社インターメスティック 上場取引所
コード番号 262A URL <http://www.zoff.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 上野 博史
問合せ先責任者（役職名） CFO管理本部長（氏名） 里見 亮陞 (TEL) 03(5468)8650
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	38,325	14.0	6,221	14.6	6,233	16.1	4,248	13.8
2024年12月期第3四半期	33,620	—	5,426	—	5,369	—	3,731	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 4,271百万円(15.1%) 2024年12月期第3四半期 3,711百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	138.82	134.62
2024年12月期第3四半期	174.23	—

(注) 1. 当社は2023年12月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2024年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	34,536	26,100	75.6
2024年12月期	34,842	23,058	66.2

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 26,100百万円 2024年12月期 23,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	40.20	40.20
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	42.90	42.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,330	10.0	5,514	10.0	5,495	12.6	3,750	6.7	122.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年12月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規一社(社名)ー、除外一社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	30,600,000株	2024年12月期	30,600,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	一株	2024年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	30,600,000株	2024年12月期3Q	21,420,000株

(注) 当社は、2024年4月23日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復がみられました。一方で、物価上昇の継続が消費者マインドに影響を与え、個人消費には一部に弱さがみられました。また、米国の金融政策や中国経済の減速懸念など、海外経済の不透明感が我が国の景気を下押しするリスクとなっております。金融資本市場の変動や中東情勢などの地政学的リスクにも十分注意が必要であり、国内外における経済の先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような経済環境の中、当社グループはビジョンとして“Eye Performance”を掲げ、視力矯正器具に留まらず、メガネをファッションアイテムとして、さらには人間の可能性を拡張するツールとして、新しい価値を提示し、社会や暮らしに必要とされるブランドを目指し、取り組みを進めてまいりました。

商品施策につきましては、レンズ以外のすべてのパーツをラバーのみで成型した「Galileo (ガリレオ)」の新作サングラス、株式会社サンリオのキャラクターユニット「はぴだんぶい」との初のコラボレーション、人気モデル/クリエイターの伊原 葵とのコラボレーション第2弾、人気セレクトショップ「UNITED ARROWS」との2025年秋冬新作アイウェアコレクション等、積極的な新商品の展開に取り組んでまいりました。

広告展開につきましては、Snow Manのメンバーとして、また俳優としても活躍する目黒蓮さんをグローバルブランドアンバサダーに迎え、TVCM「Zoff meets 目黒蓮 SUNCUTGlasses」篇を全国で放映し、UVカット率100%の「SUNCUTGlasses」シリーズの認知拡大を図りました。

店舗展開につきましては、当第3四半期連結累計期間における店舗数は、国内320店舗(すべて子会社である株式会社ゾフが運営)、海外20店舗(すべてフランチャイズ加盟店、香港16店舗、シンガポール4店舗)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,325百万円(前年同期比14.0%増)、営業利益は6,221百万円(前年同期比14.6%増)、経常利益は6,233百万円(前年同期比16.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,248百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

セグメント別業績の概要は、次のとおりです。

〈国内事業〉

国内事業につきましては、TVCMをはじめとした各種プロモーション施策の効果により「SUNCUTGlasses」や「調光レンズ」が好調に推移しました。

店舗展開につきましては、国内店舗数は320店舗(出店15店舗、退店2店舗)となりました。

以上の結果、国内事業の業績は、セグメント売上高37,872百万円(前年同期比14.1%増)、セグメント営業利益6,174百万円(前年同期比13.6%増)となりました。

〈海外事業〉

海外事業につきましては、香港においては、個人消費の低迷や為替の影響が見受けられました。

シンガポールにおいては、景気は緩やかな成長が続いているものの減速傾向が見られ、当社グループの業績への影響がありました。

店舗展開につきましては、香港16店舗(出店なし、退店なし)、シンガポール4店舗(出店なし、退店1店舗)の合計20店舗となりました。

以上の結果、海外事業の業績は、セグメント売上高676百万円(前年同期比5.0%増)、セグメント営業利益45百万円(前年同期はセグメント損失21百万円)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ305百万円減少し34,536百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,523百万円減少し26,425百万円となりました。これは主に、銀行借入の返済や配当金の支払により現金及び預金が791百万円減少したことや、前連結会計年度末に計上された売掛債権等の回収により売掛金が569百万円、預け金が215百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ1,218百万円増加し8,111百万円となりました。これは主に、新規出店や改装に伴い有形固定資産が863百万円及び、投資その他の資産の敷金及び保証金が163百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末と比べ3,346百万円減少し8,436百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ3,469百万円減少し7,905百万円となりました。これは主に、銀行借入の返済により短期借入金が1,900百万円減少したこと及び、社会保険料の支払等により未払金が597百万円、賞与支給により賞与引当金が547百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ122百万円増加し531百万円となりました。これは主に、新規出店や改装に伴いリース債務が99百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末と比べ3,041百万円増加し26,100百万円となりました。

これは主に、配当金の支払により1,230百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益により4,248百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月14日付「2024年12月期 決算短信」にて公表いたしました2025年12月期の連結業績予想につきましては、第3四半期までの業績を勘案し、第4四半期の見通しを改めて精査でき次第、速やかに修正する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,045	19,253
売掛金	1,047	478
商品	3,799	3,770
預け金	2,587	2,372
その他	468	550
流動資産合計	27,948	26,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,362	1,779
工具、器具及び備品（純額）	983	1,299
リース資産（純額）	366	481
建設仮勘定	13	28
有形固定資産合計	2,726	3,589
無形固定資産		
ソフトウェア	678	728
その他	24	21
無形固定資産合計	702	749
投資その他の資産		
関係会社出資金	27	27
敷金及び保証金	2,256	2,420
繰延税金資産	1,139	1,283
その他	52	53
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	3,464	3,772
固定資産合計	6,893	8,111
資産合計	34,842	34,536

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	888	1,022
短期借入金	2,900	1,000
リース債務	115	138
未払金	2,831	2,234
未払費用	199	208
未払法人税等	1,345	1,314
賞与引当金	981	434
契約負債	1,240	939
預り金	113	166
その他	758	448
流動負債合計	11,374	7,905
固定負債		
リース債務	313	412
預り保証金	81	99
その他	13	18
固定負債合計	409	531
負債合計	11,783	8,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	220	220
資本剰余金	10,240	10,240
利益剰余金	12,479	15,497
株主資本合計	22,939	25,957
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	—	7
為替換算調整勘定	118	134
その他の包括利益累計額合計	118	142
純資産合計	23,058	26,100
負債純資産合計	34,842	34,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	33,620	38,325
売上原価	8,484	8,913
売上総利益	25,136	29,412
販売費及び一般管理費	19,709	23,191
営業利益	5,426	6,221
営業外収益		
受取利息	0	19
為替差益	—	0
その他	4	4
営業外収益合計	4	24
営業外費用		
支払利息	25	11
為替差損	25	—
その他	10	0
営業外費用合計	61	11
経常利益	5,369	6,233
特別利益		
固定資産売却益	13	2
関係会社出資金売却益	17	—
移転補償金	49	—
その他	5	—
特別利益合計	85	2
特別損失		
固定資産除却損	39	67
その他	0	3
特別損失合計	39	71
税金等調整前四半期純利益	5,416	6,164
法人税、住民税及び事業税	1,879	2,063
法人税等調整額	△195	△146
法人税等合計	1,684	1,916
四半期純利益	3,731	4,248
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,731	4,248

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	3,731	4,248
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△29	7
為替換算調整勘定	8	16
その他の包括利益合計	△20	23
四半期包括利益	3,711	4,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,711	4,271

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,976	644	33,620	—	33,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	221	—	221	△221	—
計	33,198	644	33,842	△221	33,620
セグメント利益又は損失(△)	5,435	△21	5,413	12	5,426

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去および未実現利益調整額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、ZOFF I SINGAPORE PTE. LTD. の株式を売却し連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ「海外事業」のセグメント資産が235百万円減少しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,649	676	38,325	—	38,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	222	—	222	△222	—
計	37,872	676	38,548	△222	38,325
セグメント利益	6,174	45	6,220	0	6,221

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	568百万円	752百万円